



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 特殊電極株式会社

コード番号 3437 URL <https://www.tokuden.co.jp>

代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）西川 誉

問合せ先責任者 （役職名）取締役管理本部長兼経理部長 （氏名）片岡 達哉 TEL 078-941-9421

半期報告書提出予定日 2025年11月14日

配当金支払開始予定日 2025年12月9日

決算補足説明資料作成の有無：無

決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切り捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	5,309	6.8	301	△24.2	314	△22.1	223	△16.7
2025年3月期中間期	4,970	2.9	397	△20.3	404	△21.6	268	△24.8

（注）包括利益 2026年3月期中間期 241百万円（△10.7％） 2025年3月期中間期 270百万円（△30.1％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	141.58	—
2025年3月期中間期	169.95	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	11,354	7,818	68.4	4,906.59
2025年3月期	11,911	7,654	63.8	4,806.61

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 7,762百万円 2025年3月期 7,599百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	46.00	—	51.00	97.00
2026年3月期	—	50.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	50.00	100.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,010	△5.0	522	△17.9	528	△18.1	400	△14.4	253.12

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期中間期	1,602,000株	2025年3月期	1,602,000株
-------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2026年3月期中間期	19,896株	2025年3月期	21,039株
-------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数（中間期）

2026年3月期中間期	1,581,386株	2025年3月期中間期	1,580,961株
-------------	------------	-------------	------------

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
3. その他	10
(1) 役員の異動	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されました。しかし、米国の通商政策の影響による景気の下振れや、物価上昇の継続が個人消費に及ぼす影響、金融資本市場の変動等の景気を下押しするリスクが存在したため、先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況の中にあつて当社グループは、営業部門におきましては、営業活動の効率化と高度化を推進し、売上拡大に鋭意努力してまいりました。

生産工場及び工事工場におきましては、安全第一のもと、技術の伝承を進めると共に品質の向上や作業の効率化を推し進めてまいりました。

研究開発などの技術部門におきましては、新技術、新製品、新装置の開発ならびに既存技術の向上に取り組んでまいりました。

また、海外子会社におきましては、販売体制の強化を進めてまいりました。

その結果、当中間連結会計期間の売上高は5,309百万円（前年同中間期比6.8%増）となりました。また、損益面におきましては、営業利益は301百万円（同24.2%減）、経常利益は314百万円（同22.1%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は223百万円（同16.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 工事施工

積極的な提案型営業と高度技術の提供、徹底したコスト削減の実行により、受注拡大に努めました結果、トッププレート工事の受注は減少しましたが、連続鍛造ロール肉盛工事、電力関連現地機械加工工事、鉄鋼関連の保全工事の受注が増加したことにより、売上高は4,040百万円（前年同中間期比7.5%増）、セグメント利益は598百万円（同3.8%減）となりました。

② 溶接材料

直販体制の優位性を活かし、新規顧客の開拓と既存顧客の更なる深耕による販売力強化に努めました結果、当社の主力でありますフラックス入りワイヤなどの製品の売上高は305百万円（前年同中間期比13.3%増）となりましたが、商品のアーク溶接棒、TIG・MIGなどの溶接材料の売上高は374百万円（同9.9%減）となり、溶接材料の合計売上高は679百万円（同0.8%減）、セグメント利益は79百万円（同3.4%減）となりました。

③ 環境関連装置

自動車産業用粗材冷却装置の受注は増加しましたが、自動車産業用試験装置・検査装置の受注が減少したことにより、売上高は232百万円（前年同中間期比0.5%減）、セグメント利益は12百万円（同52.2%減）となりました。

④ その他

自動車関連のアルミダイカストマシーン用部品の受注が増加したことにより、売上高は355百万円（前年同中間期比21.8%増）、セグメント利益は24百万円（同12.5%増）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における資産合計は、11,354百万円となり、前連結会計年度末に比べ556百万円減少しました。これは、商品及び製品66百万円の増加がありました。現金及び預金145百万円、受取手形、売掛金及び契約資産311百万円、建物及び構築物（純額）94百万円の減少が主な要因です。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は、3,536百万円となり、前連結会計年度末に比べ720百万円減少しました。これは、買掛金148百万円、賞与引当金118百万円、その他（流動負債）298百万円の減少が主な要因です。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は、7,818百万円となり、前連結会計年度末に比べ163百万円増加しました。これは、利益剰余金143百万円の増加が主な要因です。

この結果、自己資本比率は68.4%（前連結会計年度末は63.8%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ145百万円減少し、1,558百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前中間純利益314百万円に賞与引当金の減少118百万円、仕入債務の減少204百万円、未払金の減少192百万円、法人税等の支払114百万円などの資金減少要因がありましたが、減価償却費の計上188百万円、売上債権の減少395百万円などがあり、205百万円の収入(前年同中間期は201百万円の支出)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、有形固定資産の取得による支出221百万円などがあり、224百万円の支出(前年同中間期は314百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、配当金の支払80百万円などがあり、128百万円の支出(前年同中間期は372百万円の収入)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当初の計画通りに推移するものと考えており、現時点におきましては、2025年5月15日発表の業績予想に変更はありません。今後、業績予想に関して修正の必要性が生じた場合には速やかに開示いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,703,684	1,558,513
受取手形、売掛金及び契約資産	4,070,783	3,759,549
電子記録債権	455,781	444,856
商品及び製品	968,075	1,034,323
半成工事	180,513	132,908
原材料及び貯蔵品	151,811	145,977
その他	79,723	88,002
貸倒引当金	△273	△329
流動資産合計	7,610,098	7,163,802
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,085,459	1,990,731
その他(純額)	1,566,750	1,596,277
有形固定資産合計	3,652,209	3,587,008
無形固定資産	45,668	41,265
投資その他の資産		
その他	630,033	562,643
貸倒引当金	△26,856	—
投資その他の資産合計	603,176	562,643
固定資産合計	4,301,053	4,190,918
資産合計	11,911,152	11,354,720

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年 3 月 31 日)	当中間連結会計期間 (2025年 9 月 30 日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	641, 440	492, 443
電子記録債務	747, 809	683, 876
短期借入金	500, 000	500, 000
1 年内返済予定の長期借入金	100, 200	100, 200
未払法人税等	129, 791	76, 342
賞与引当金	349, 694	231, 188
業績連動報酬引当金	—	3, 313
工事損失引当金	6, 555	6, 485
その他	546, 476	248, 426
流動負債合計	3, 021, 967	2, 342, 275
固定負債		
長期借入金	684, 300	634, 200
退職給付に係る負債	522, 725	531, 628
その他	27, 271	27, 954
固定負債合計	1, 234, 297	1, 193, 782
負債合計	4, 256, 265	3, 536, 058
純資産の部		
株主資本		
資本金	484, 812	484, 812
資本剰余金	394, 812	395, 300
利益剰余金	6, 595, 420	6, 738, 682
自己株式	△40, 574	△38, 370
株主資本合計	7, 434, 470	7, 580, 424
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	107, 559	123, 034
為替換算調整勘定	11, 586	13, 483
退職給付に係る調整累計額	45, 441	45, 799
その他の包括利益累計額合計	164, 587	182, 316
非支配株主持分	55, 829	55, 920
純資産合計	7, 654, 887	7, 818, 661
負債純資産合計	11, 911, 152	11, 354, 720

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月 30 日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月 30 日)
売上高	4,970,580	5,309,031
売上原価	3,573,221	3,908,569
売上総利益	1,397,359	1,400,462
販売費及び一般管理費	999,783	1,098,975
営業利益	397,575	301,486
営業外収益		
受取利息	165	503
受取配当金	2,773	3,123
駐車場収入	1,255	2,511
交付金収入	—	9,425
その他	5,380	3,511
営業外収益合計	9,575	19,075
営業外費用		
支払利息	2,339	4,530
駐車場収入原価	702	1,183
為替差損	—	139
営業外費用合計	3,042	5,853
経常利益	404,107	314,708
特別利益		
固定資産売却益	—	148
特別利益合計	—	148
特別損失		
固定資産除却損	17,420	98
特別損失合計	17,420	98
税金等調整前中間純利益	386,687	314,758
法人税、住民税及び事業税	73,520	62,065
法人税等調整額	42,886	30,671
法人税等合計	116,406	92,737
中間純利益	270,281	222,021
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失 (△)	1,592	△1,870
親会社株主に帰属する中間純利益	268,688	223,891

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日)
中間純利益	270, 281	222, 021
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4, 845	15, 474
為替換算調整勘定	2, 063	3, 857
退職給付に係る調整額	3, 031	358
その他の包括利益合計	250	19, 690
中間包括利益	270, 531	241, 711
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	267, 862	241, 620
非支配株主に係る中間包括利益	2, 668	90

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	386,687	314,758
減価償却費	184,972	188,366
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△133,759	△118,591
業績連動報酬引当金の増減額 (△は減少)	—	3,313
株式報酬費用	—	605
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	13,332	9,424
受取利息及び受取配当金	△2,938	△3,627
支払利息	2,339	4,530
受取保険金	△590	—
交付金収入	—	△9,425
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△148
売上債権の増減額 (△は増加)	213,712	395,836
契約資産の増減額 (△は増加)	△278,388	△72,306
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△123,806	△21,460
仕入債務の増減額 (△は減少)	△713,020	△204,225
未払金の増減額 (△は減少)	81,895	△192,825
その他	161,838	17,252
小計	△207,726	311,476
利息及び配当金の受取額	2,924	3,609
利息の支払額	△2,504	△4,489
保険金の受取額	590	—
交付金の受取額	—	9,425
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	5,270	△114,738
営業活動によるキャッシュ・フロー	△201,445	205,282
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△231,672	△221,269
有形固定資産の売却による収入	—	148
有形固定資産の除却による支出	△17,382	—
資産除去債務の履行による支出	△62,480	—
無形固定資産の取得による支出	—	△265
投資有価証券の取得による支出	△2,810	△2,899
その他	△12	44
投資活動によるキャッシュ・フロー	△314,358	△224,241
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	500,000	—
長期借入金の返済による支出	△50,100	△50,100
リース債務の返済による支出	△1,965	—
配当金の支払額	△75,240	△80,974
自己株式の増減額 (△は増加)	—	2,203
財務活動によるキャッシュ・フロー	372,693	△128,870
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,403	2,659
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△140,706	△145,170
現金及び現金同等物の期首残高	1,990,006	1,703,684
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,849,300	1,558,513

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自2024年4月1日 至2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	工事施工	溶接材料	環境関連装置	計				
売上高								
一時点で移転 される財 (注) 4	2,410,335	684,895	70,820	3,166,051	292,331	3,458,382	—	3,458,382
一定の期間に わたり移転 される財	1,349,315	—	162,882	1,512,197	—	1,512,197	—	1,512,197
顧客との契約 から生じる収益	3,759,650	684,895	233,703	4,678,249	292,331	4,970,580	—	4,970,580
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	3,759,650	684,895	233,703	4,678,249	292,331	4,970,580	—	4,970,580
セグメント間の 振替高	—	241,743	—	241,743	30,455	272,199	△272,199	—
計	3,759,650	926,639	233,703	4,919,993	322,786	5,242,780	△272,199	4,970,580
セグメント利益	621,866	81,981	25,744	729,593	21,873	751,466	△353,891	397,575

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に自動車産業向けのアルミダイカストマシーン用部品の販売であります。
2. セグメント利益の調整額△353,891千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費)であります。
3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. 契約における取引開始日から完全に履行義務を充足すると見込まれる時点までの期間がごく短い
ため、代替的な取扱いを適用し、完全に履行義務を充足した時点で収益を認識している工事契約
を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自2025年4月1日 至2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	工事施工	溶接材料	環境関連装置	計				
売上高								
一時点で移転 される財 (注) 4	2,591,599	679,673	67,192	3,338,466	355,972	3,694,438	—	3,694,438
一定の期間に わたり移転 される財	1,449,172	—	165,420	1,614,593	—	1,614,593	—	1,614,593
顧客との契約 から生じる収益	4,040,771	679,673	232,613	4,953,059	355,972	5,309,031	—	5,309,031
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	4,040,771	679,673	232,613	4,953,059	355,972	5,309,031	—	5,309,031
セグメント間の 振替高	—	228,272	—	228,272	35,646	263,918	△263,918	—
計	4,040,771	907,945	232,613	5,181,331	391,618	5,572,950	△263,918	5,309,031
セグメント利益	598,469	79,232	12,297	689,999	24,614	714,614	△413,127	301,486

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に自動車産業向け
のアルミダイカストマシン用部品の販売であります。
2. セグメント利益の調整額△413,127千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に報
告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費)であります。
3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. 契約における取引開始日から完全に履行義務を充足すると見込まれる時点までの期間がごく短い
ため、代替的な取扱いを適用し、完全に履行義務を充足した時点で収益を認識している工事契約
を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

3. その他

(1) 役員の異動

① 退任取締役

取締役 島田 宏亮(第一営業本部長兼工事企画部長)

② 退任日

2025年10月31日